



校長室だより

令和5年12月15日



今年の漢字

去る12日に発表された「今年の漢字」は「税」でした。本校でも、図書室の企画で「今年の自分の1年を表す漢字一字」の募集がありましたね。この1年、世間では「増税」議論が活発でした。「今年の漢字」は、その1年に社会で起きたできごとを振り返り、1年の世相を表す漢字一字を全国から募集するものです。最も応募数の多かった漢字を12月12日（漢字の日）に京都・清水寺で発表し、1年のできごとを清め、新年が明るくなることを願い奉納しています。

みなさんが生まれた年代まで「今年の漢字とその年のできごと」をさかのぼると、

- '22(令和4)年「戦」 ウクライナ侵攻・サッカーW杯・北京冬季五輪 ●'21(令和3)年「金」東京オリンピックで日本人の金メダル
- '20(令和2)年「密」 コロナ感染防止のために3密回避 ●'19(令和元)年「令」 新元号決定で新たな時代の幕開け
- '18(平成30)年「災」 大阪府北部地震や西日本豪雨、台風 ●'17(平成29)年「北」 北朝鮮のミサイル発射や九州北部豪雨
- '16(平成28)年「金」 リオ五輪で日本人の金メダルラッシュ ●'15(平成27)年「安」 安全保障関連法成立やテロ事件多発
- '14(平成26)年「税」 消費税率の17年ぶり引き上げ ●'13(平成25)年「輪」 2020年の東京五輪・パラリンピック開催決定
- '12(平成24)年「金」 ロンドン五輪で日本が最多メダル数 ●'11(平成23)年「絆」 東日本大震災やソーシャルメディアの流行
- '10(平成22)年「暑」 記録的な猛暑で熱中症患者続出 ●'09(平成21)年「新」 日本の政権交代やオバマ米大統領の誕生
- '08(平成20)年「変」 日米の政界変化や世界的金融危機 となっています。

さて、私は、今年の漢字を「集」と考えました。「集」は「隹(とり)」と「木」から成り立っていて、「たくさんのとりが木にあつまっている様子」を表しています。コロナ禍の数年間、「あつまる・つどう・一つの場所に身を寄せる」ということがとても難しかったのですが、今年は「集合」「集会」「参集」という言葉が校内で何度も響いていたと感じています。

「同じ場所で、同じ空気間の中で、同じ瞬間を大勢の人が共有できること」を当たり前だと思っていたコロナ前とは違い、今年はそのことの難しさや大切さを改めて知ることができた有意義な年だったと思っています。

みなさんにとって今年の漢字は、どんな一字でしょうか。

1年のしめくくりを

まもなく2学期が終了します。いろいろな行事を通してみなさんが上げた成果は、人によって少しずつ違うと思います。今学期の自分の成長の跡をぜひ振り返ってください。一つ一つの行事だけが切り離されて、成功した・失敗したというのではなく、その背景になる日々の学校生活がどうだったのか、毎日の1時間ごとの授業をどれだけ大切にできたかということが、目的を達成した充実感につながります。

常に「何かのために」という目的を持っていますか。自分自身のことを客観的に見る力のある人は成長すると言われます。新しい年を迎えるにあたり、一度自分をよく見つめ、自分の「目標」と「目的」を考えてみましょう。

3年生のみなさんは、いよいよ進路決定に向けて実動する時期となりました。自分と向き合い、何をすべきか判断し、自分を信じて粘り強く準備を進めてください。健闘を祈っています。

保護者の皆さまへ

平素は本校教育にご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

ご家族でゆっくり過ごすことも多い年末から年始にかけて、お子様と一緒に過ごしながらか、対話する時間を多く持っていただけることを願っております。

インフルエンザ等の流行も懸念される時期となりました。健康にご留意いただき、充実した日々をお過ごしください

